



トキメキ

11

TOKIMEKI
NOVEMBER 2019
Vol.500 祝

子どもたちとの時間が
人生を豊かにしてくれる。



思いもよらない自由な作品をつくり上げてしまう子どもたちの発想とパワーにはいつもびっくり。
一枚の小さな紙から生まれる創造と会話。子どもたちと関わるのはとても面白い。

空いた時間を地域のために、とお考え方の方へ

授業を終えた子どもたちが思い思いに時間を過ごす「放課後子ども教室」は、足立区内全69公立小学校で実施しています。そのかたわらで子どもたちを見守るのは地域の大人たち。講習を受けておりがみを教える「おりがみサポーター」もその一員です。日本の伝統文化「おりがみ」の楽しさを伝えたい、子どもたちの笑顔と出会いたいと日々、知恵を絞っています。あなたも、パワーあふれる子どもたちと、放課後を過ごしませんか。

公益財団法人足立区生涯学習振興公社 TEL 5813-3732
あだち公社 検索 FAX 3870-8409

足立区生涯学習振興公社の
情報は2面にあります。

公社ニュース ときめき 発行／公益財団法人 足立区勤労福祉サービスセンター
編集：「公社ニュースときめき」編集室 〒120-0036 足立区千住仲町40-2 シティ・クレドール101号室
TEL 5244-7316 FAX 5244-7328 MAIL tokimeki@a-tokimeki.net

「公社ニュースときめき」は足立区シルバーハウスセンターにより区内全世帯に配布されています。
配布に関するお問い合わせ TEL 5856-6866 FAX 5856-6533

※個人情報の取扱いについて ときめきに掲載されている講座・イベント等にお申し込みいただいた方の個人情報は、事業の実施に必要な範囲で利用します。



コンサート in ミュージアム **BU^OY** きらめく春、騒めく夏、彩づく秋、凍てつく冬

銭湯を改装したアートスペースを舞台に、津軽三味線、笛、太鼓の音色が響きわたります。それぞれの楽器の個性をお楽しみください。

日時 12月18日(水)午後7時~8時15分(開場:午後6時)

場所 BU^OY(千住仲町49-11)

曲目 津軽じょんから節の調べ
蝦夷富士の唄
米節(こめぶし) ほか
※曲目は変更される場合があります

出演 【津軽三味線】澤田勝春氏
【尺八・笛】米谷和修氏
【太鼓】三宅 治氏

NHK歌謡コンサートや国際交流基金イベントなど国内外で活躍中のお三方。

定員 60人(抽選)



澤田勝春氏(津軽三味線)



米谷和修氏(尺八・笛)



三宅 治氏(太鼓)

BU^OY

〒120-0036 千住仲町49-11
2階(墨堤通り側入り口)

BU^OY(ブイ、海に浮かぶ「浮標」)は、銭湯、ボウリング場という歴史を持つ廃墟を改装し、平成29年7月にアートセンターとしてオープンしました。ギャラリーや、稽古場、劇場、カフェがあり、先鋭的なアートを紹介しています。



コンサート in ミュージアムとは

区内にある5カ所の民間施設がネットワークを結び、特徴を活かしたコンサートや催し物を行っています。

注意事項

- イベント講座の最新情報(変更・中止など)はホームページに随時更新します。
- ほかにも事業の紹介をしていますので、ぜひホームページをご参照ください。

子どもと本をつなぐ 放課後読書支援センター講習会

放課後読書支援センターは、小学校の放課後子ども教室で子どもたちの本への興味を引き出し、読書に親しんでもらう活動を行うボランティアです。

日時 11月29日(金)午前10時~正午

場所 生涯学習センター5階 研修室4(千住5-13-5 学びピア21)

対象 放課後子ども教室での活動を希望する方、または関心のある方

内容

- ①放課後子ども教室での読書推進
- ②大型絵本などの活用例の紹介
- ③子どもと本をつなぐ声かけ、接し方の留意点

講師 放課後子ども教室担当読書支援サポートチーム

定員 20人(抽選) **費用** 無料

申込方法 11月6日(水)までに電話またはハガキ(必着)。ハガキの場合、①放課後読書支援センター講習会②郵便番号、住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤読み語り活動の経験の有無を記入し、郵送。

※定員に満たない場合は11月7日(木)から電話で先着順に受け付け

申し込み・問い合わせ

公社／学習・スポーツ事業課
〒120-0034 千住5-13-5
学びピア21 4階
☎5813-3735
平日 午前9時~午後5時



「放課後子ども教室」で工作コーナー見守リストaffの工夫がいっぱい！



弘道小学校放課後子ども教室「こうどう梅☆ぱれっと」では、月に数回、見守リストaffの企画による工作コーナーを設けています。

季節や行事にちなんだ材料と見本を用意し、見守りの合間に工作をしている子どもたちに、作り方のコツなど簡単なアドバイスをしています。

材料はトイレットペーパーの芯や紙コップ、折り紙、画用紙、布や手芸用品など。スタッフ同士で意見交換し、作品テーマを決定します。スタッフの工夫が詰まった作品の製作に、子どもたちは楽しそうに取り組み、出



ハロウィンの飾りを作りました

来上がったものを笑顔で持ち帰ります。

スタッフリーダーの関さんは「子どもたちが作る楽しさと達成感を味わえるように考えています。難しいところはスタッフがサポートしています」と話してくれました。

弘道小学校のほかにも、子どもたちの多様な体験を提供するためのプログラムを、スタッフが事前の準備や声かけなど工夫しながら進めています。放課後の時間が子どもたちを豊かに育んでいきます。

問い合わせ 放課後子ども教室担当
☎5813-3732 平日 午前9時~午後5時

当公社に関するお問い合わせはこちら

HP <https://www.kousya.jp/tokimeki/contact/>

